

二国間クレジット制度（JCM）資金支援事業（ADB拠出）



【令和2年度要求額 1,000百万円（1,000百万円）】

優れた低炭素技術の途上国への導入を支援します。

1. 事業目的

- ① 二国間クレジット制度（JCM）などを活用した個別プロジェクト支援により、途上国の最先端の低炭素社会への移行を支援。
- ② 世界全体での抜本的な排出削減に貢献し、JCMクレジットの獲得を行うと同時に、優れた環境技術の途上国における導入を促進する。

2. 事業内容

アジアの途上国においては、今後社会インフラの整備が急速に進むと考えられ、低炭素型の社会インフラ整備を行うことが極めて需要。

「環境インフラ海外展開基本戦略」（平成29年7月）や「海外展開戦略（環境分野及びリサイクル分野）」（平成30年6月）に基づき、二国間クレジット制度（JCM）などを活用した個別プロジェクトを支援。

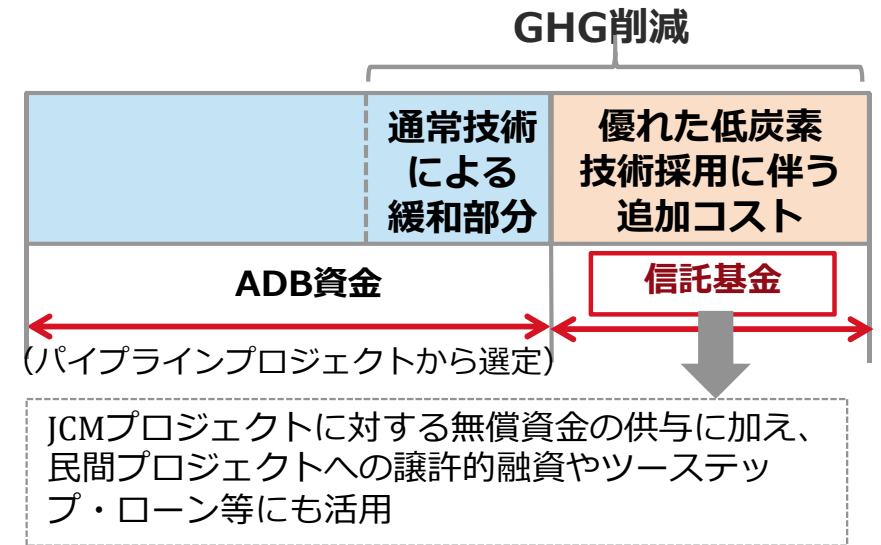
具体的には、これまで導入コスト高から導入が進んでこなかった優れた低炭素技術の採用をADBの社会インフラ・プロジェクト（信託基金）により追加コストを支援することで、最先端の低炭素社会への移行につなげ、削減分についてJCMクレジット化を図る。

優れた低炭素技術が、通常技術と比べライフサイクルコストの観点で経済的・社会的に優れていることを明らかにすることで、途上国側の市場の障壁を下げ、アジア地域における市場拡大・普及展開につなげる。

3. 事業スキーム

- 事業形態 拠出金
- 拠出先 アジア開発銀行信託基金
- 実施期間 平成26年度～

4. 具体的なイメージ



<具体的な低炭素技術の事例>

- ・ 高効率排水処理設備（水分野）
- ・ 廃棄物発電技術（都市分野）
- ・ 高効率蓄電池システム（エネルギー分野）
- ・ 高効率送電線（エネルギー分野） 等